

統計資料の読み方

小学校5年 国語
「自然環境を守るために」
情報活用能力の育成
教科・領域での活用

ねらい

- 統計資料の読み方や作成時の注意点について考えることを通して、考えを読み手に正しく伝えるための方法について知ることができる。

学習展開

- ① 文章の中に統計資料を載せる効果について考える。
- ② 古いデータから、最新のデータまでどのような変化があるか予想をし、大きな変化があった場合にはその背景を考える必要があることに気づかせる。
- ③ 同じデータでも見え方が違う2種類のグラフを見比べて、違う理由やその効果について話し合う。
- ④ 統計資料を活用する際に、どんなことに気を付けなければならないのか話し合う。



司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭と学校司書で、児童に提示する統計資料を作成する。
- 司書教諭は担任と学習の流れを確認する。
- 学校司書は、図書室にある統計資料を用意し、児童に紹介する。

指導のポイント

- グラフの単位や目盛りを隠したり、データの一部を予想させたりすることで、グラフの変化に意識を向けることができる。
- 図書館で学習することで、参考資料がどこにあるのかを考えながら学習できる。

資料

『第5学年国語科教科書「銀河」』光村図書
『朝日ジュニア学習年鑑』朝日新聞出版
・自作データ